



株式会社フリークアウト・ホールディングス

2020年9月期 第1四半期
決算説明資料

2020年2月14日

Section1 2020年9月期 第1四半期決算の概要

Section2 事業の進捗

Section3 総括及び第2四半期以降の見通し

※今回の決算説明会の内容につきましては、弊社Webサイトにて近日中に公開予定でございます。

Section1 2020年度9月期第1四半期決算の概要

連結売上高

74.2億円 (前年Q比+30.5億円 +69.8% / 直前Q比+12.2億円 +19.6%)

(前年Q比)海外広告を中心に、大幅成長を引き続き継続
(直前Q比)同上により、過去最高売上を更新

連結EBITDA

3.6億円 (前年Q比+2.6億円 +258.0% / 直前Q比+9.8億円)

(前年Q比・直前Q比)

- ・ 海外広告事業、投資事業の利益が大きく貢献
- ・ その他についても、新規事業子会社の整理等によりコストがスリム化

連結経常利益

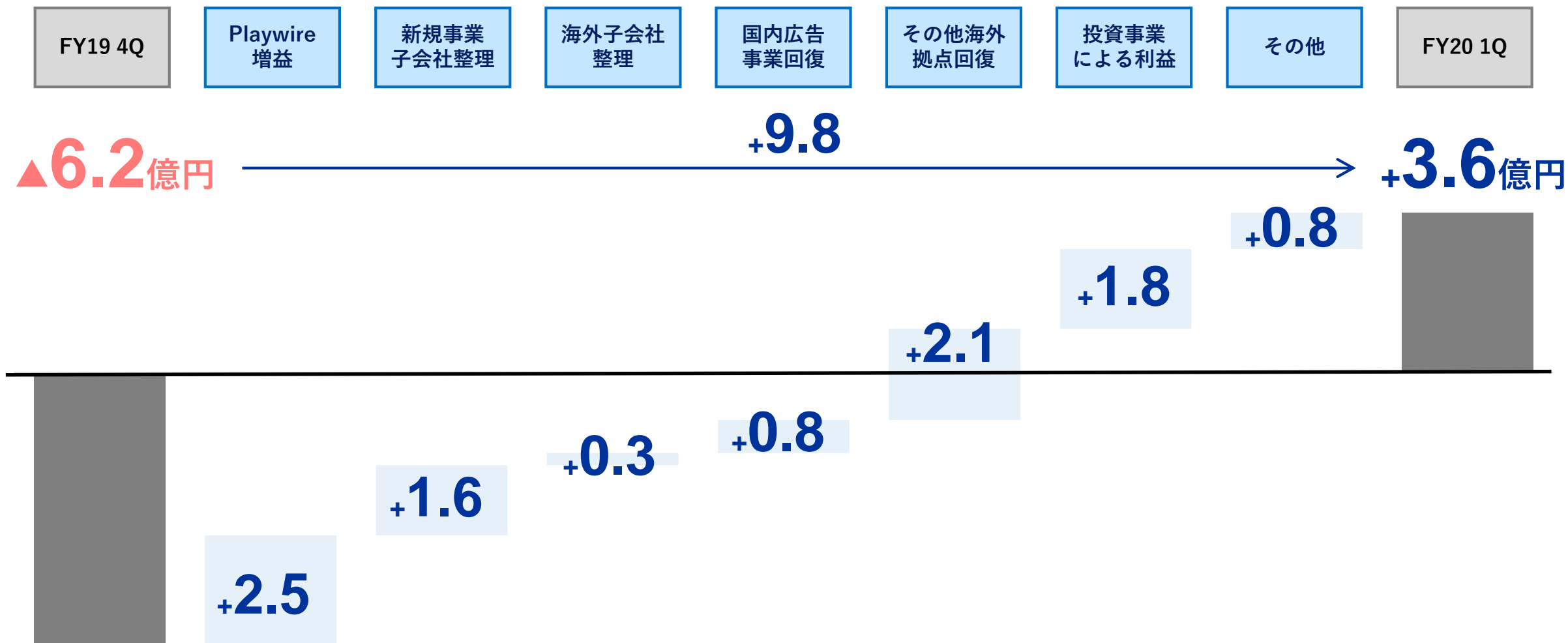
3.3億円 (前年Q比+3.9億円 / 直前Q比+12.0億円)

(前年Q比・直前Q比)

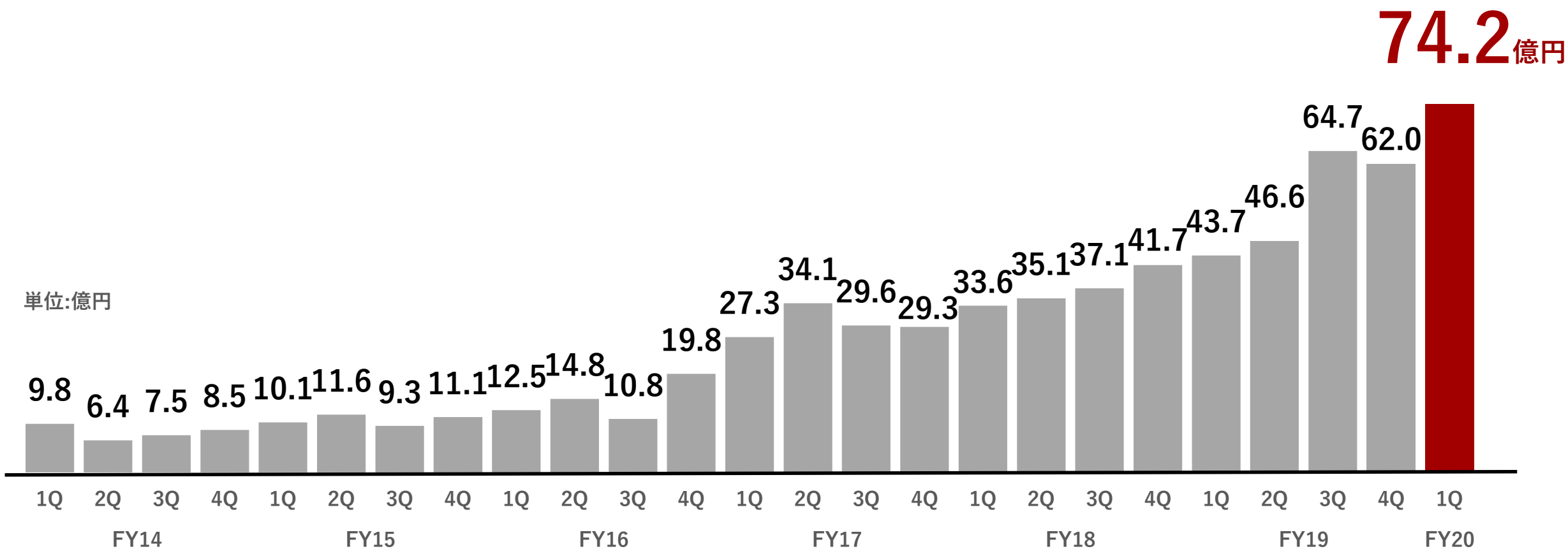
- ・ EBITDAと同様の要因に加え為替差益等が発生

上記とは別途、①持分変動利益（特別利益**2.3億円**）、貸倒引当金繰入額（特別損失**2.2億円**）、②海外子会社の追加清算決定に伴う関係会社整理損失引当金繰入額（特別損失**0.5億円**）が発生

Playwireの好調、国内外子会社の整理、投資事業の貢献等により、
前Q比で大きく利益が改善



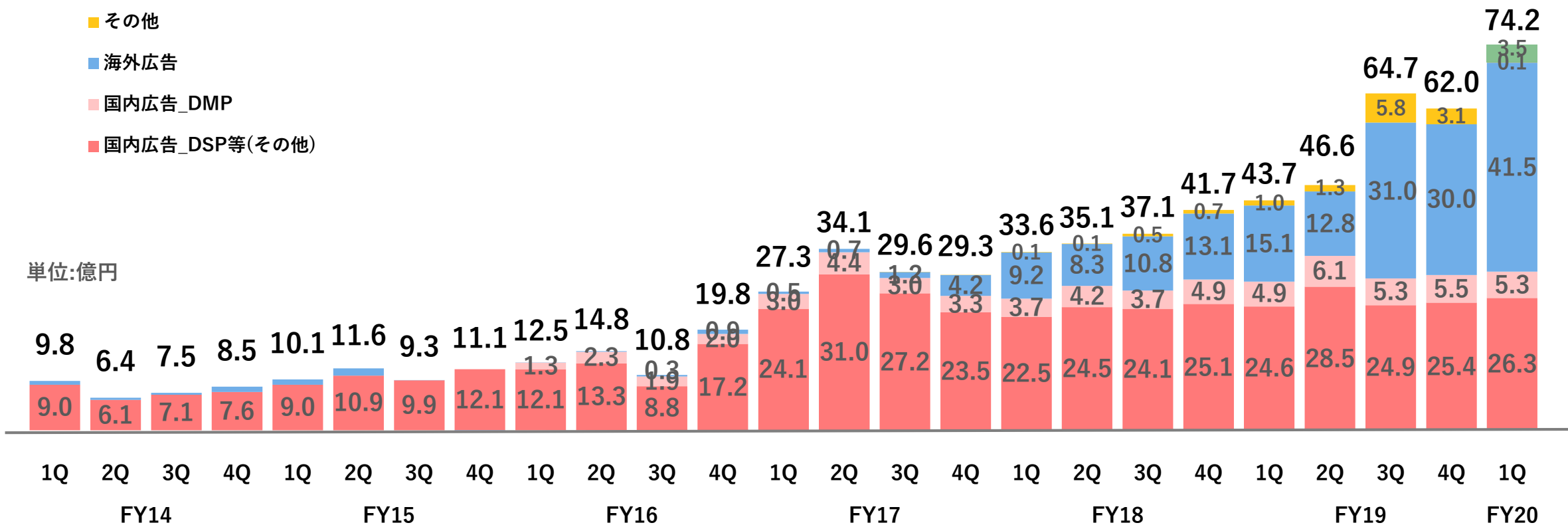
過去最高売上高を更新



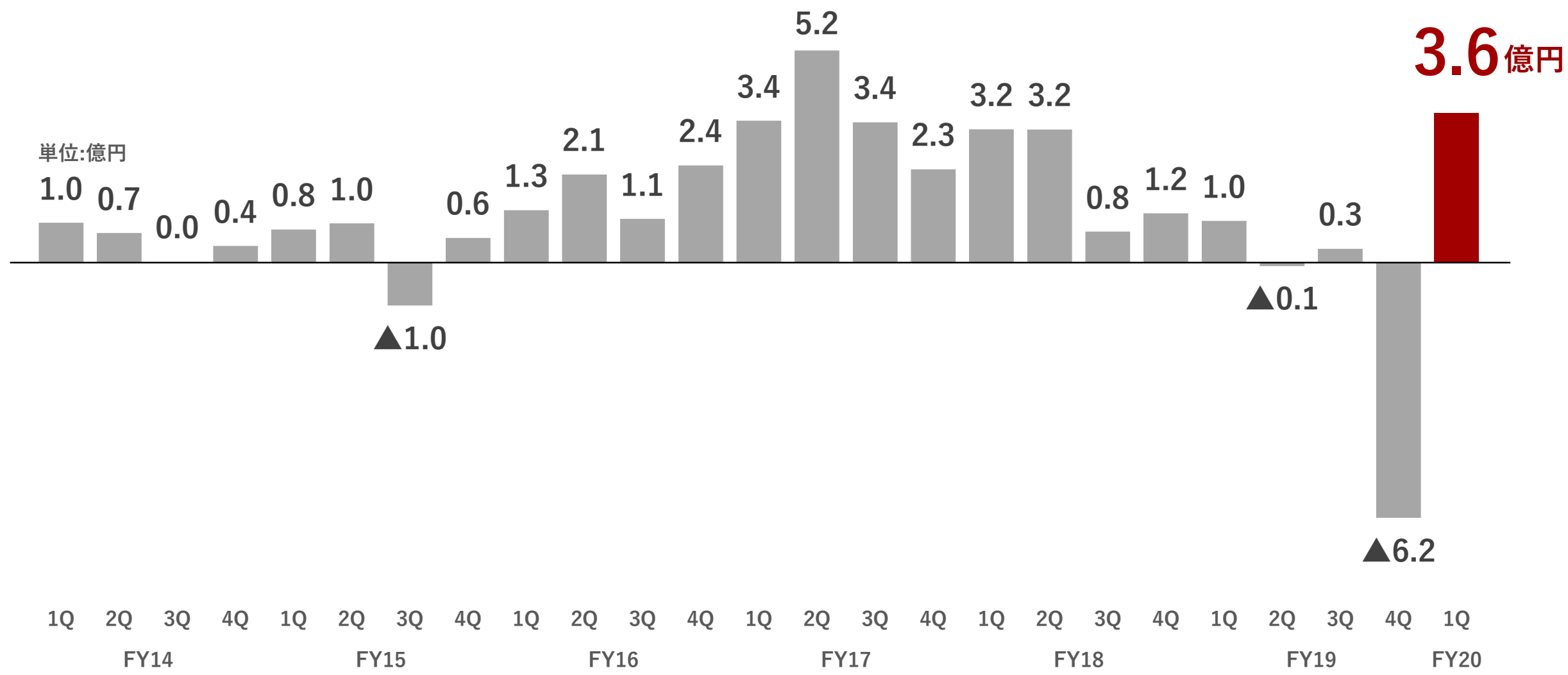
海外広告事業が大きく売上増に寄与したほか、投資事業も収益貢献開始

- 投資事業
- その他
- 海外広告
- 国内広告_DMP
- 国内広告_DSP等(その他)

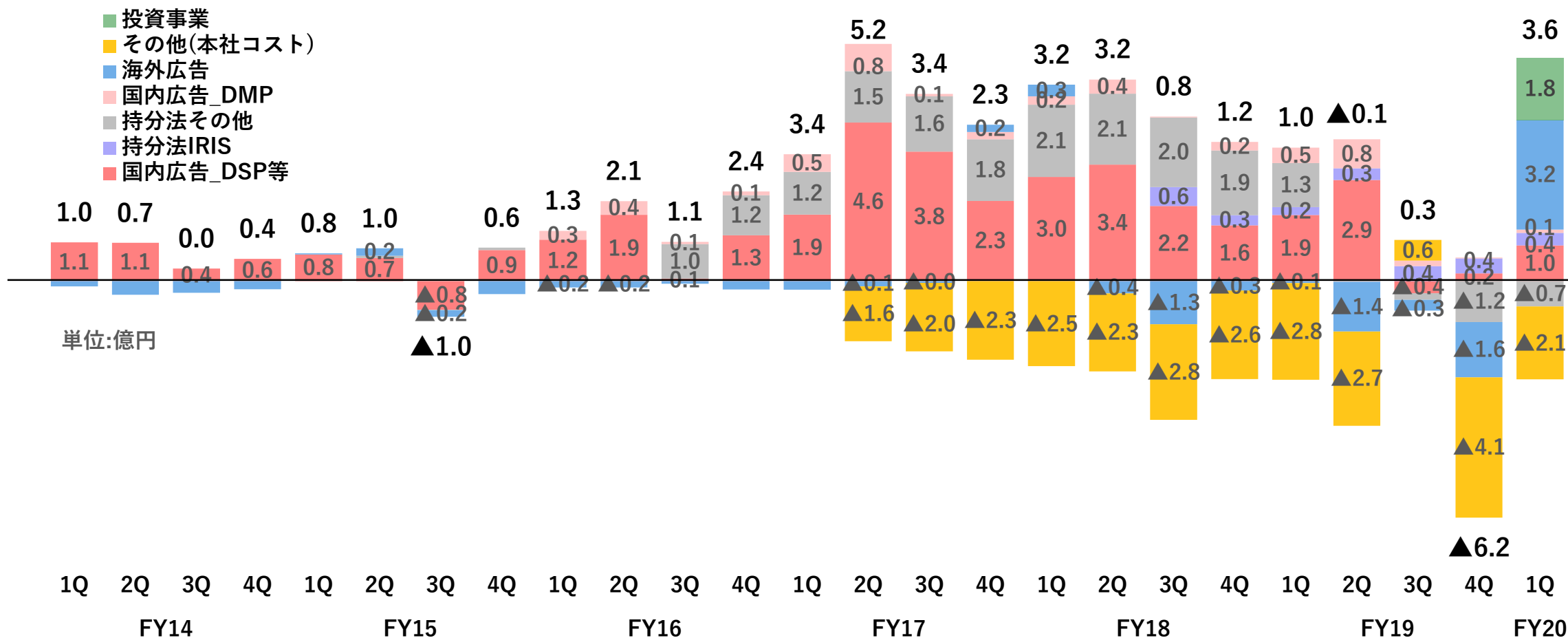
単位:億円



連結EBITDA（合計） 四半期推移

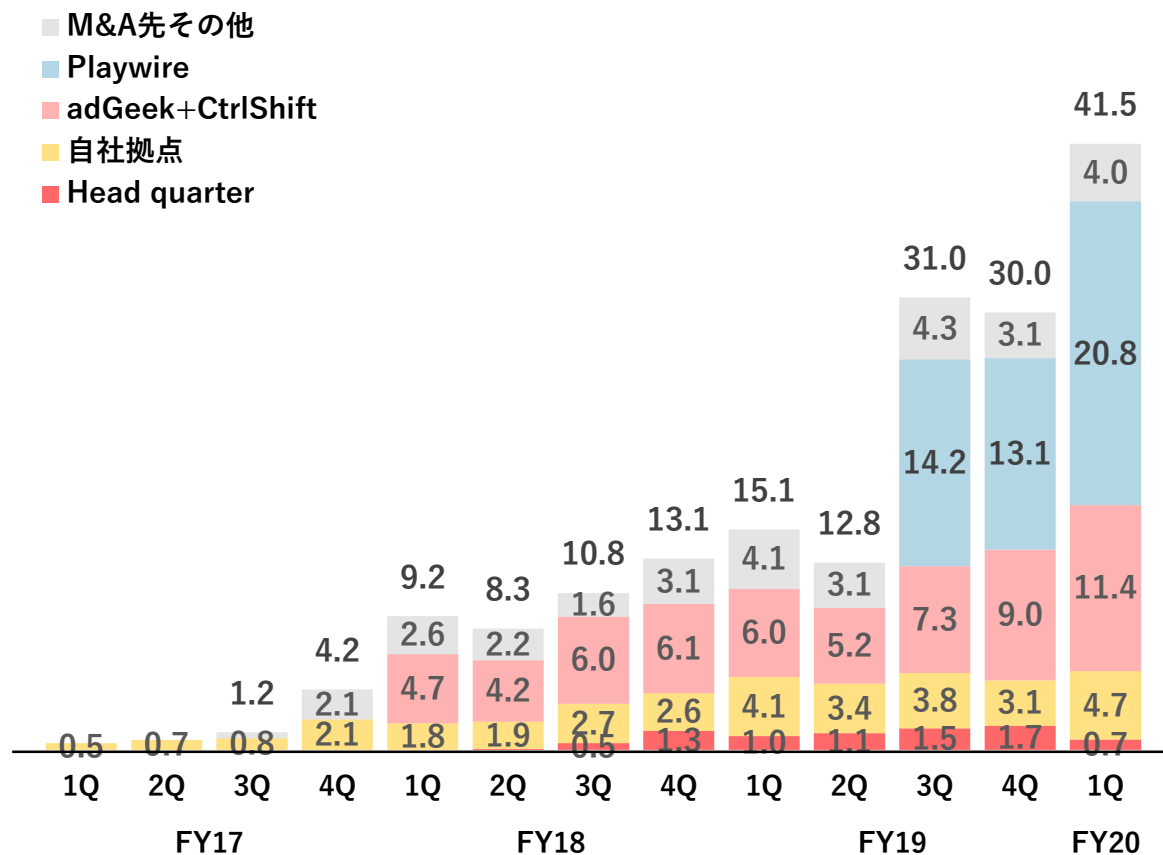


海外広告事業と投資事業が前四半期比で大きく増益に貢献

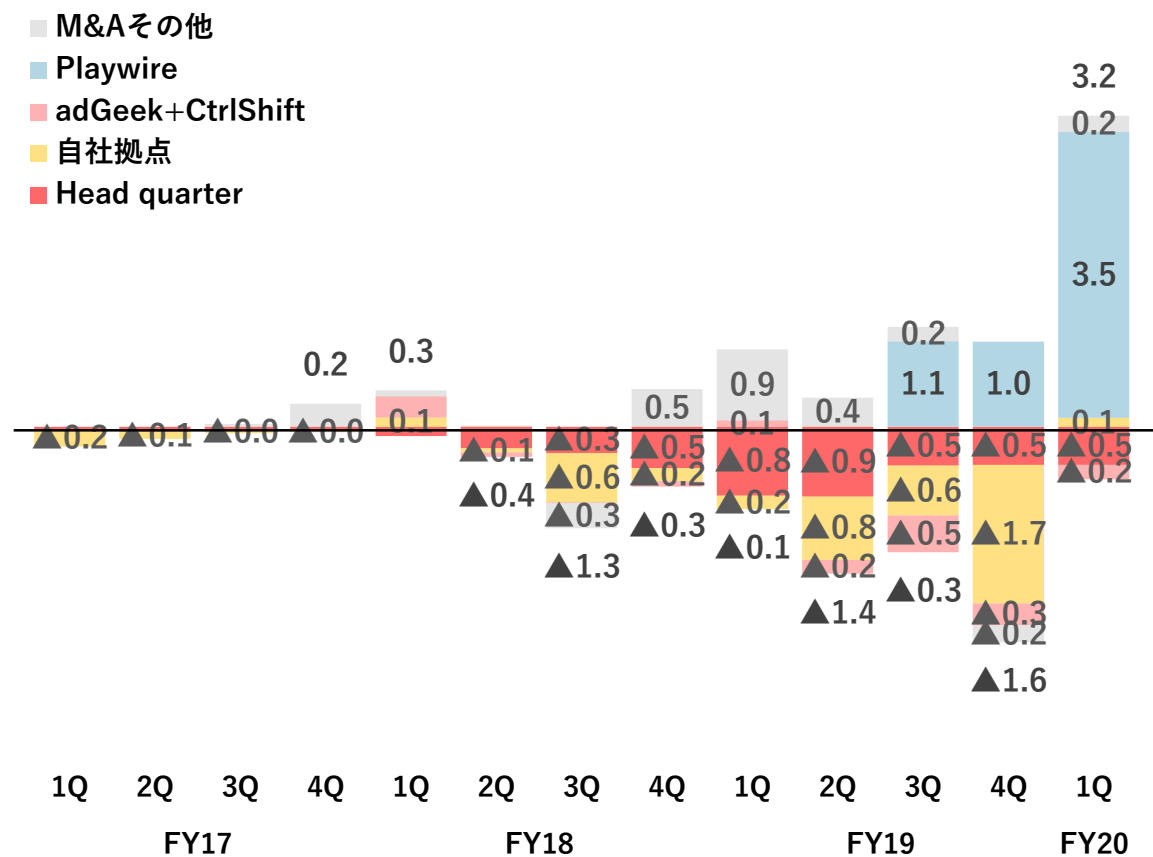


Playwireが順調に収益貢献したほか、自社拠点が四半期で黒字計上

売上 (単位:億円)



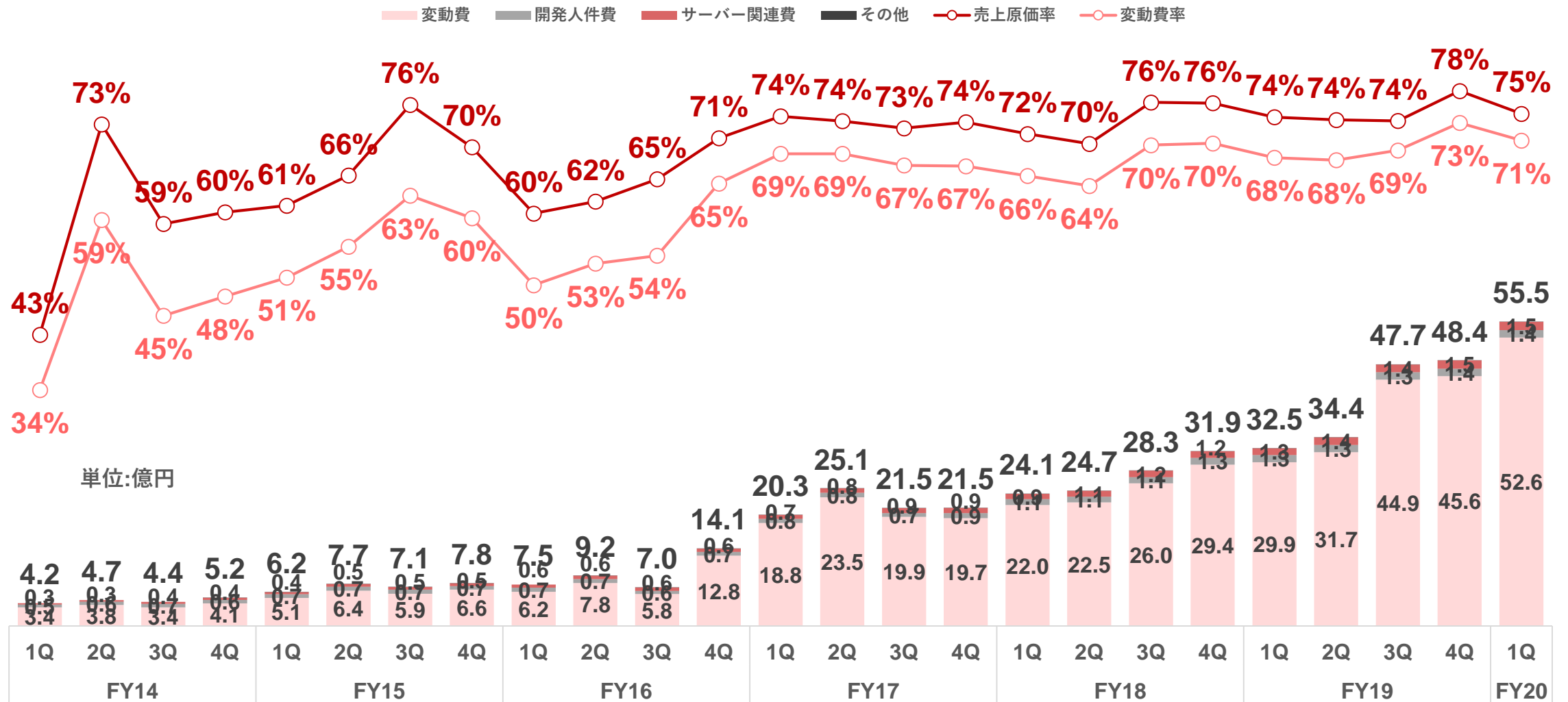
EBITDA (単位:億円)



単位:百万円

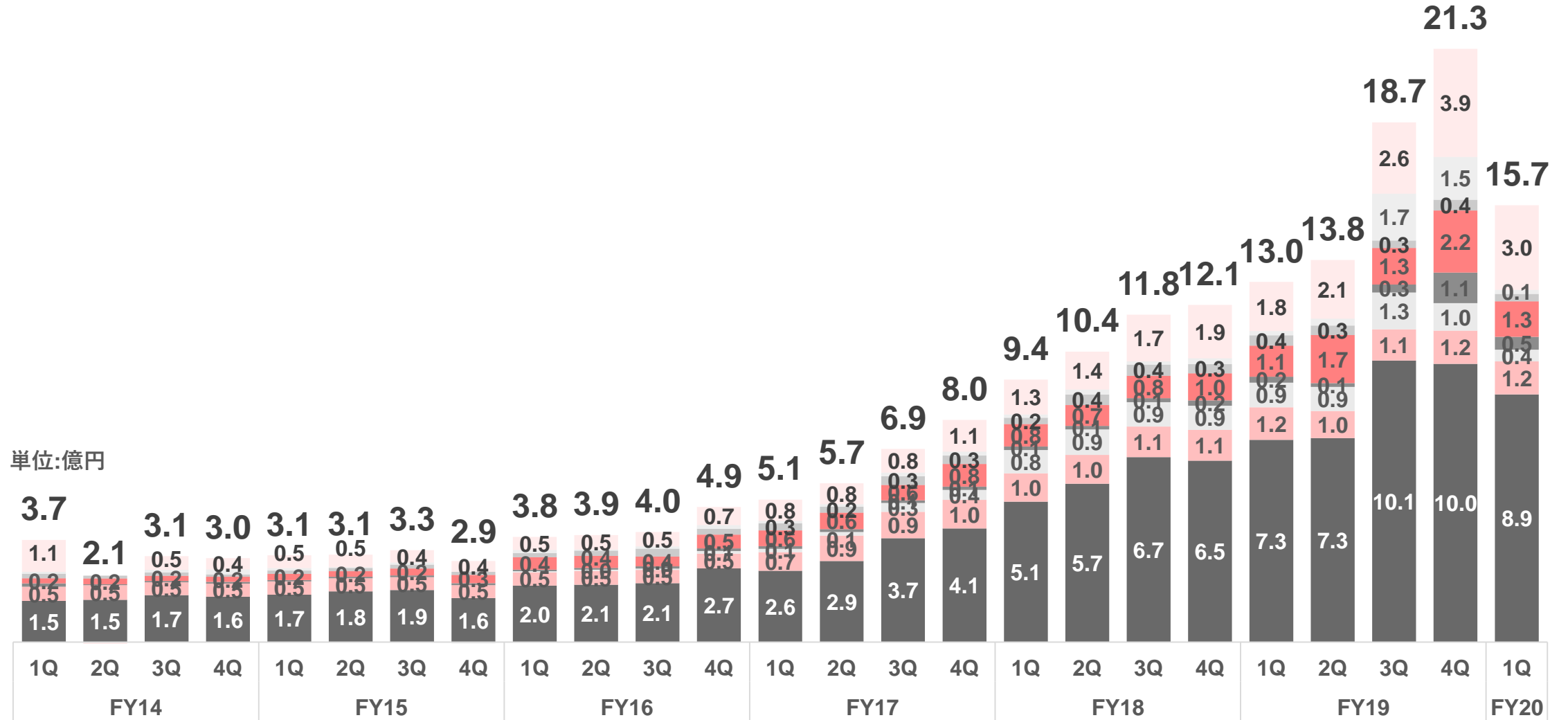
	FY19				FY20
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
営業利益	▲171	▲157	▲168	▲774	302
持分法投資利益	151	32	25	▲70	▲36
のれん償却費	88	87	132	99	42
減価償却費	34	29	45	126	56
EBITDA	102	▲8	34	▲619	364
のれん償却費	▲88	▲87	▲132	▲99	▲42
減価償却費	▲34	▲29	▲45	▲126	▲56
その他(為替差損益等)	▲45	▲99	▲193	▲26	62
経常利益	▲65	▲223	▲337	▲872	329

【参考情報】 連結売上原価の推移



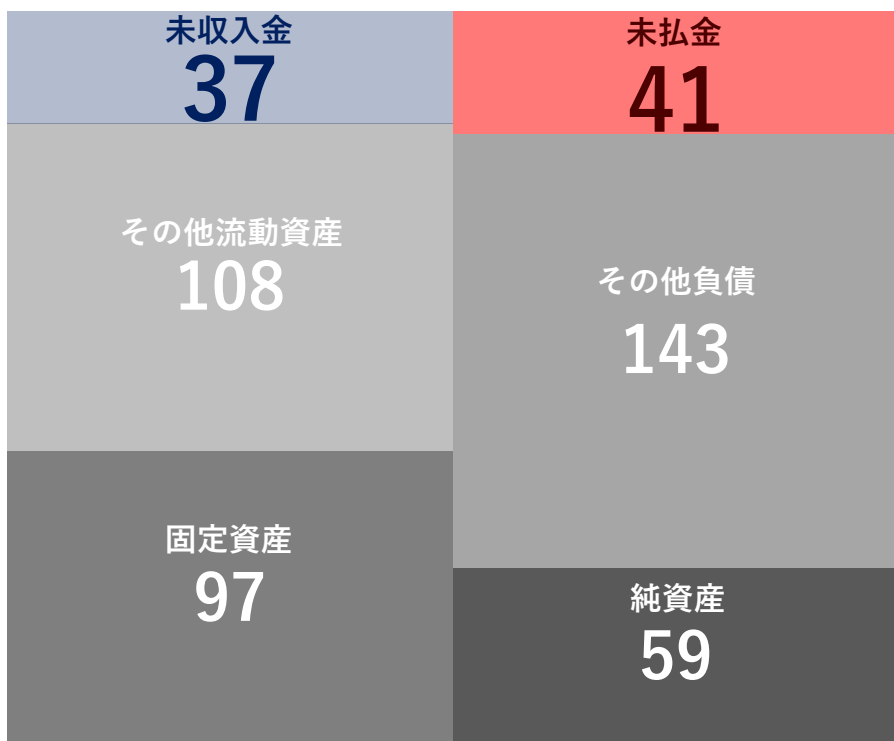
【参考情報】 連結販売管理費推移

■人件費 ■家賃・水道光熱費 ■のれん償却費 ■減価償却費 ■外注・報酬等 ■採用費 ■販売費 ■その他

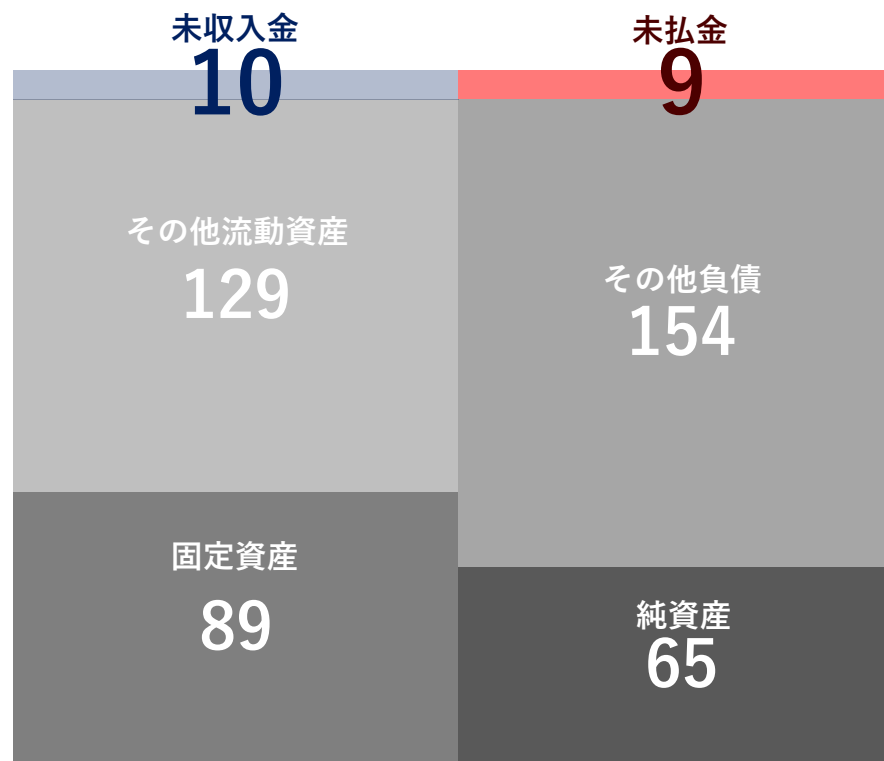


Gardiaの譲渡に伴う未収金・未払金のオフバランスにより、BSが改善

FY19 4Q BS残高 (単位:億円)



FY20 1Q BS残高 (単位:億円)

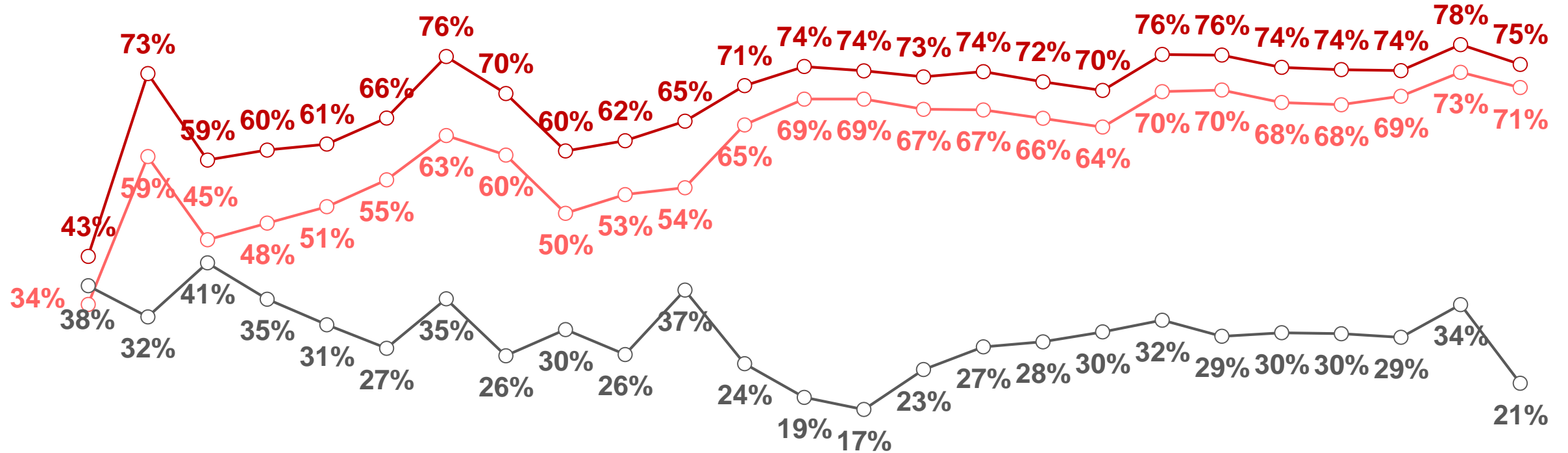


単位:人

	FY19	FY19	FY19	FY19	FY20
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
国内広告_DSP等	161	167	159	165	169
国内広告_DMP	39	38	32	43	43
海外広告_自社拠点	124	115	113	114	90
海外広告_M&A	271	362	356	366	321
その他	62	67	63	63	31
合計	657	749	723	751	654

【参考情報】 連結原価率・連結販管費率の推移

● 売上原価率 ● 変動比率 ● 販管費率

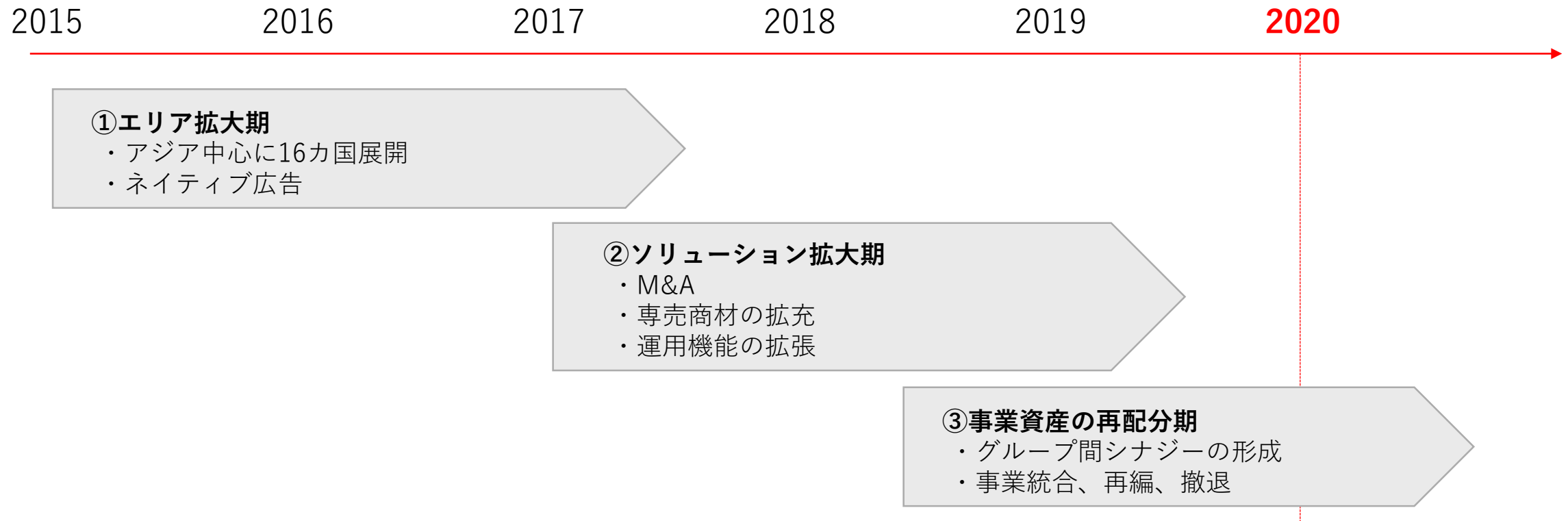


1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
FY14				FY15				FY16				FY17				FY18				FY19				FY20

Section2 事業の進捗

事業資産の再配分（シナジー形成及び事業統合・再編・撤退）を進行中

- ・ FY19下半期及び FY20 Q1 で、事業再編・撤退判断はほぼ完了
- ・ 一部の継続検討事業についても、FY20上半期中には全て判断完了する見込み
- ・ グループ会社間のシナジー創出に注力
- ・ 中期計画以降の仕込み（オフライン、動画、チャットボット領域）も進捗中



以下の事業体制見直しの判断～実行を短期間で進めることで FY20 収益体質への転換へ貢献。マネジメント体制の効率化により更なるコストカット及び収益拡大を期待。

事業停止（事業停止、清算）及び JV 先への株式譲渡

- ・ トルコ、アラブ首長国連邦、ロシア、オーストラリア、インドの事業停止
- ・ PT. Qandeo Asia Consulting の JV 先への株式譲渡

事業再編（経営統合、機能吸収、機能移管）

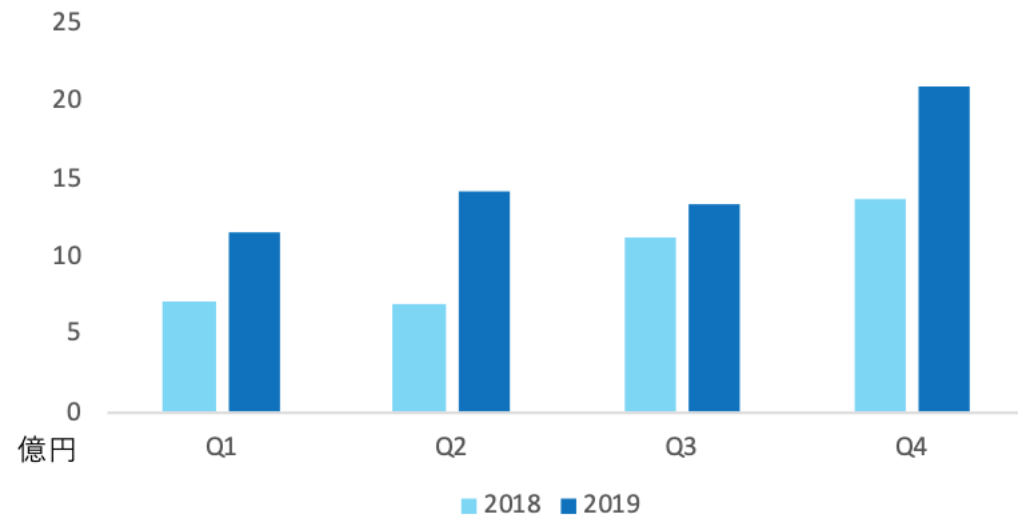
- ・ 国内広告事業と海外広告事業の経営統合
- ・ Rigoletto の運用部門をグループ会社及び FreakOut China へ機能吸収
- ・ 海外グループ会社管理機能を FreakOut Pte.Ltd. から FreakOut Holdings へ移管

事業縮小（部門整理、人員整理）

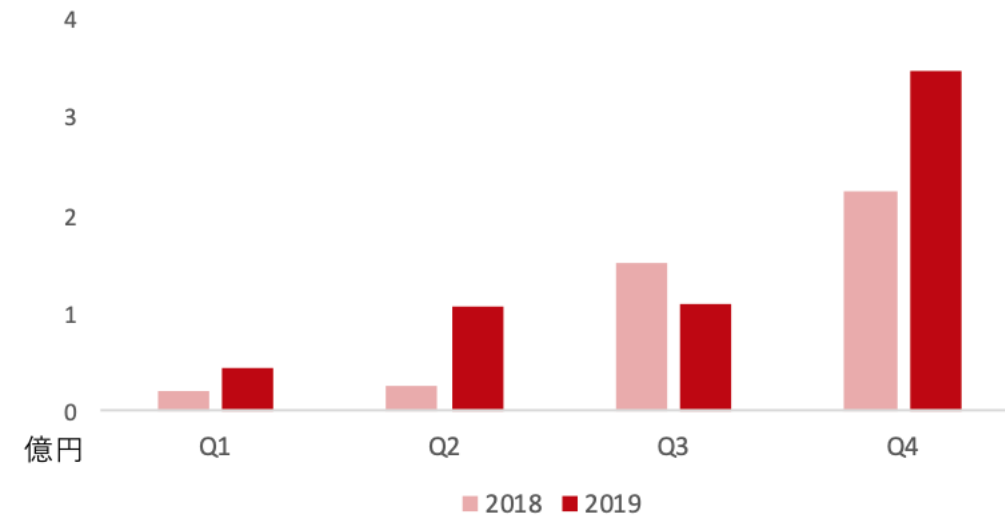
- ・ adGeek 不採算部門の整理
- ・ The Studio の人員整理
- ・ FreakOut Pte.Ltd. 間接部門の一部人員整理

- ・ 米国 Playwire は引き続き好調を維持
- ・ FreakOut とのアジア協業は引き続きテストマーケ中
- ・ 20年通期に関しても堅調に推移する見通し（通期で収益貢献予定）

19年通期売上60億円（昨対+54%）



19年通期 EBITDA 6億円（昨対+42%）

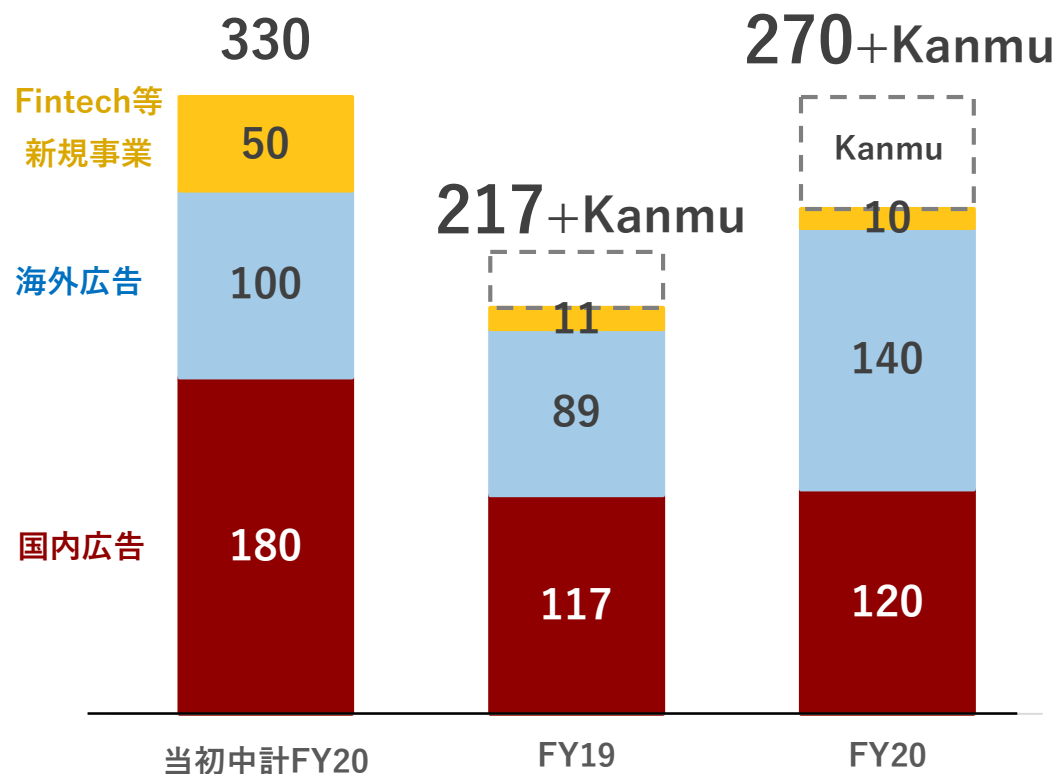


※会計期 1月-12月での比較 ※ 1USD = 110JPY にて計算

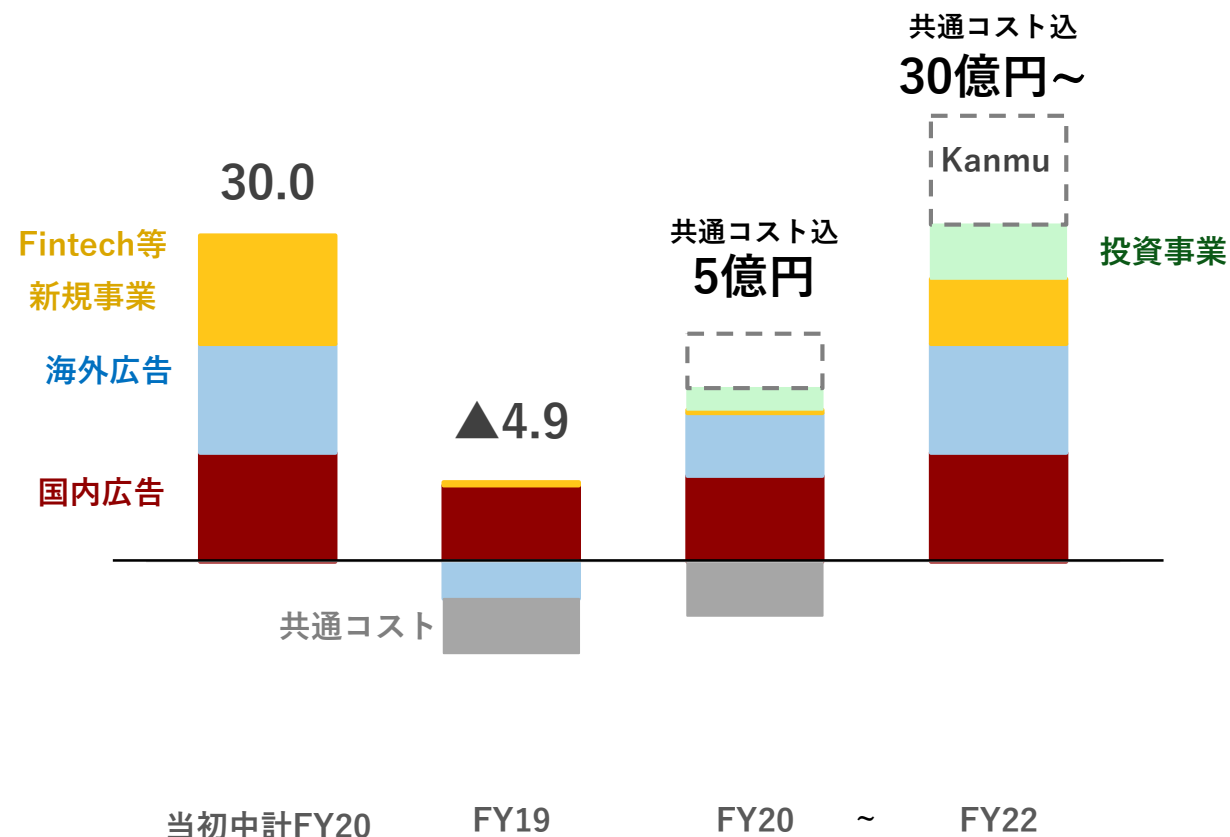
Section3 総括及び第2四半期以降の見通し

2020年9月期：成長と規律のバランスによる収益化

売上 (単位:億円)



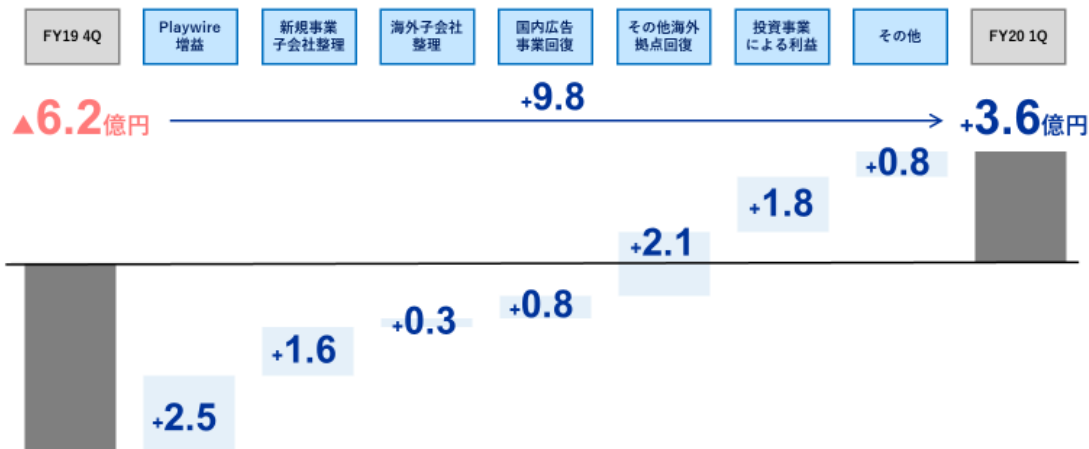
EBITDA (単位:億円)



※共通コストが別途発生

2020年9月期第1四半期までの取組と実績

■連結EBITDA 前Q対比



■第1四半期までの取り組み

- ①新規事業整理 ⇒ ○(ほぼ達成)
- ②海外子会社整理 ⇒ ○(ほぼ達成)
- ③投資事業開始 ⇒ ◎(達成)
- ④持分法適用会社成長 ⇒ ◎(達成)

約3年ぶりの高水準EBITDA達成し、
第1四半期は社内予算超過で業績進捗

2020年9月期第2四半期以降の取り組み

- ①従来の主力事業（DSP、DMP)の回復
- ②伊藤忠との提携事業推進
- ③収益化促進のためにさらなる事業整理



さらなる業績改善要素はあるが、
現時点では業績予想は修正せず。

APPENDIX 1

会社概要

会社名	株式会社フリークアウト・ホールディングス		
設立	2010年10月1日		
資本金	33億3,383万円		
所在地	〒106-0032 東京都港区六本木6-3-1 六本木ヒルズ クロスポイント		
役員構成	代表取締役社長 Global CEO	本田 謙	取締役(常勤監査等委員) 柳澤 文夫
	取締役 新領域事業管掌	佐藤 裕介	取締役 (監査等委員) 高田 祐史
	取締役 広告事業管掌	安倉 知弘	取締役 (監査等委員) 渡辺 英治
	取締役CFO	永井 秀輔	社外取締役 堀内 真人
事業内容	グループ会社株式保有によるグループ経営戦略の策定・管理		
発行済株数	15,904,700株		
主要株主※	本田 謙		30.17%
	伊藤忠商事株式会社		17.99%
	ドイツ証券株式会社		7.03%
	YJ1号投資事業組合 業務執行組合員 YJキャピタル株式会社		3.61%
	THE BANK OF NEW YORK MELLON 140051		3.16%

※2019年9月末時点の主要株主の状況を記載しております。

APPENDIX 2

業績補足資料

単位：百万円	FY20 1Q	FY19 1Q	前年Q比	FY19 4Q	直前Q比
変動費	5,259 70.9%	2,987 68.3%	76.1%	4,556 73.4%	15.4%
開発人件費	139 1.9%	131 3.0%	6.2%	138 2.2%	0.6%
サーバー関連費	150 2.0%	125 2.9%	19.3%	149 2.4%	0.2%
その他	1 0.0%	2 0.0%	▲33.4%	1 0.0%	3.3%
売上原価計	5,549 74.8%	3,245 74.3%	71.0%	4,845 78.1%	14.5%

*金額の下に記載している%は対売上高比

単位：百万円	FY20 1Q	FY19 1Q	前年Q比	FY19 4Q	直前Q比
人件費	891 12.0%	728 16.6%	22.4%	1,001 16.1%	▲11.0%
家賃・水道光熱費	119 1.6%	117 2.7%	1.2%	119 1.9%	▲0.5%
のれん償却費	42 0.6%	88 2.0%	▲52.0%	99 1.6%	▲57.4%
減価償却費	47 0.6%	22 0.5%	117.3%	110 1.8%	▲57.7%
外注・報酬等	127 1.7%	112 2.6%	13.6%	223 3.6%	▲42.9%
採用費	27 0.4%	37 0.9%	▲27.1%	38 0.6%	▲29.4%
販売費	14 0.2%	15 0.3%	▲4.1%	154 2.5%	▲90.6%
その他	304 4.1%	177 4.1%	71.6%	389 6.3%	▲21.8%
販管費計	1,572 21.2%	1,296 29.7%	21.3%	2,134 34.4%	▲26.4%

*金額の下に記載している%は対売上高比



FreakOut
Holdings

Give People Work That Requires A Person.